

公益社団法人 日本地下水学会
2016年度 第6回 理事会議事録

1. 開催日時：2016年12月10日（土）13:30～17:50

2. 開催場所：日本工営(株)九段オフィス 中庭棟4階 第1中会議室
〒102-8539 東京都千代田区九段北1丁目14番6号

3. 理事総数：15人

4. 出席理事数：12人

○：出席，×：欠席

理事	今村 聡	○	理事	今井 久	○
理事	小野寺 真一	○	理事	川端 淳一	×
理事	高坂 信章	○	理事	坂本 大	○
理事	白石 知成	○	理事	杉田 文	○
理事	鈴木 弘明	○	理事	竹内 真司	×
理事	谷口 真人	○	理事	徳永 朋祥	○
理事	中川 啓	×	理事	中屋 眞司	○
理事	古川 正修	○			

5. 出席監事数：2人

監事	平山 光信	○	監事	村田 正敏	○
----	-------	---	----	-------	---

6. 議長の氏名：代表理事（会長）谷口 真人

代表理事 谷口 真人は議長席につき、上記のとおり定足数にたる理事の出席があったので、13時30分 本理事会の開会を宣した。

7. 代表理事の活動状況：

- ①10/21：日本地下水学会秋季大会（長崎大会）シンポジウム「地下水管理における意思決定に係わる水文地質観測」で発表。
- ②11/11：文部科学省研究振興局局長の地球研訪問時に、愛媛県西条市での地下水調査・地下水保全の取り組みなど、学会の取り組みを紹介。その後、4機構会議などで紹介される。
- ③11/13：大分県別府市：温泉温度一斉調査で地下水学会長としてコメント。
- ④11/22：愛媛県西条市で、国土交通省国土政策局「地下水の見える化手法に関する検討」西条地区ワーキンググループ会議に座長として参加。「地下水の見える化マニュアル」の素案を検討。

8. 決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名：該当する理事はいない。

9. 議事録作成者：理事 白石 知成

10. 理事会資料

- 理事会資料－ 1：2016年度 第6回理事会 議事次第
- 理事会資料－ 2：2016年度 第5回理事会議事録（案）
- 理事会資料－ 3（1種）：企画委員会資料
- 理事会資料－ 4（1種）：行事委員会資料
- 理事会資料－ 5（1種）：渉外委員会資料
- 理事会資料－ 6（3種）：編集委員会資料
- 理事会資料－ 7（2種）：調査研究委員会資料
- 理事会資料－ 8（1種）：市民コミュニケーション委員会資料
- 理事会資料－ 9（1種）：広報・IT 委員会資料
- 理事会資料－10（3種）：若手支援・男女共同参画委員会資料
- 理事会資料－11（1種）：技術者教育委員会資料
- 理事会資料－12（1種）：会計委員会資料
- 理事会資料－13（欠番）：表彰委員会資料
- 理事会資料－14（5種）：総務委員会資料
- 理事会資料－15（欠番）：水循環基本計画対応WG資料

【審議事項】

第1号議案：（資料-2）

- ・前回議事録（案）の内容が確認され、一部誤字修正の後、承認された。

第2号議案：（渉外：資料-5）

- ・徳永副会長より、渉外と編集に関する議案として、HRLに対する対応について提案され、今後の対応に関しては、編集委員会と渉外委員会で行うことが承認された。

第3号議案：（編集：資料-6）

- ・編集委員長より、地下水学会誌のスコープ案の検討結果（資料-6-3）が示され、会長、副会長が内容を確認し、修正案を編集委員長に連絡することが承認された。

第4号議案：（調査・研究：資料-7）

- ・著作物使用等に関する契約書(案)（資料-7-2）が示され、内容の確認の結果、第4条において契約の自動更新の条項を追加することで承認された。

第5号議案：（市民コミュニケーション：資料-8）

- ・NPO地中熱&地下水資源活用NET主催の第5回トークセッションへの講師派遣について審議され、徳永副会長を派遣することが承認された。
(2017年2月11日（土）13:00～16:00, 岐阜市（岐阜駅前・じゅうろくプラザ）)

第6号議案：（会計：資料-12）

- ・2017年度第一次予算案が示され、予算としては約160万円の赤字計画であることが示された。審議

の結果、会計委員会で例年の実績を踏まえて修正し、各委員長が内容を精査して、赤字額を決算時と同程度に修正したものを作成することとした。次回の理事会で本審議となる。

第7号議案：（総務：資料-14-1）

- ・日本学術会議会員・連携会員の候補者に関する情報提供について審議を行い、候補者としては嶋田前会長、谷口会長の2名の情報を提供することが承認された。

第8号議案：（総務：資料-14-1）

- ・入退会員については、入会（正会員：3名，準会員：2名，特別会員：0団体）及び、退会（正会員：2名）について承認された。

【報告事項等】

1. 企画委員会（資料-3）

- ・欠席の竹内理事に代わって、企画委員の井川氏より報告があった。2016年12月5日（月）に開催されたシンポジウム「水循環基本計画の下での地下水に関わる取り組み」について、参加者数（73名）収支（収入366,240円，支出575,903円，損益-166,463円）が報告された。
- ・セミナー「大震災による地下水影響とその後の回復」（仮）の検討状況について報告され、セミナーの内容として「地震後の地下水の回復」、「地震時の地下水利用」の2テーマについて関連をどうするのか、企画委員会で調整することとなった。
- ・出版計画に関して、「揚水試験入門書」および「地下水学に関する入門書」について検討中であることが報告され、ターゲットと内容について再度企画委員会で検討することとなった。

2. 行事委員会（資料-4）

- ・2016年秋季大会の結果について報告があり、講演中のpptの写真撮影や録音について、今後は禁止であることを周知徹底することが確認された。要旨集が白黒印刷であり、見にくいとの指摘に対しては、別途CDによるカラー版の配布について、費用を含めて検討することとなった。講演会の開催を、年1回（秋のみ）とする意見が紹介されたが、引続き検討することとなった。
- ・2016年秋季大会について、若手優秀講演賞の候補が示されたが、行事委員会が決定することになることを確認した。また、最優秀賞を設けることを検討することとなった。
- ・2017年度の春季講演会、秋季講演会、見学会等の予定について報告があった。
- ・「第23回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会」の幹事会報告があった。
- ・2018年春季・秋季大会の開催準備状況について報告された。
- ・行事委員会のアクションプランとして、高校生セッションの開催について3年後を目途に計画中であることが報告された。また、他学会との共催によるシンポジウム・ワークショップを秋季講演会時に行うことを検討中であることが報告された。

3. 渉外委員会（資料-5）

- ・JpGU学協会長会議に会長代理として出席した内容について報告された。
- ・IAH総会に日本地下水学会連絡委員として出席した内容について報告があった。
- ・理事会への相談事項として、2017年度JpGU「環境災害対応セッション」での日本地下水学会が

らの話題提供が挙げられたが、検討は持越しとなった。

3. 編集委員会（資料-6）

- ・学会誌 2016 年 4 号（11 月号）の発行について報告された。
- ・学会誌 2017 年 1 号（2 月号）の発行計画について報告があった。
- ・近年の学会誌への論文投稿数の推移が示され、若干回復傾向にある可能性が示された。論文投稿に関しては、若手支援の結果や、講演会での若手優秀講演賞受賞者に報告してもらう方法もあるとの意見が出された。
- ・今年度の論文表彰の選考を準備中であり、2014 年から 2015 年の 2 年分（22 本）から、1 月末を目途に選考する予定であることが報告された。

4. 調査・研究委員会（資料-7）

- ・第 2 回調査・研究委員会が 11/20 の秋季講演会時に開催されたことが報告された。
- ・熊本地震対応調査・研究グループの第 1 回会合が秋季講演会時に開催されたこと、熊本地震の解析に関する 5 つのワーキンググループが設置されたこと、等が報告された。
- ・シンポジウム「地下水管理における意思決定に係わる水文地質観測」が秋季講演会時に開催され、学会誌 2 月号に特集号としてとりまとめ中であることが報告された。
- ・地域データベースのホームページ掲載について作業中であること、審議事項（第 4 号議案）として上げている「日本の地下水」へのリンク処理について準備中であることが報告された。
- ・専門家データベース構築へ向けての検討を開始したことが報告された。
- ・地下水ガバナンスについての調査・研究グループの代表者を人選中であることが報告された。

5. 市民コミュニケーション委員会（資料-8）

- ・委員会活動実績および活動予定が報告された。

6. 広報・IT 委員会（資料-9）

- ・委員会の活動実績について報告された。
- ・ホームページ(HP)管理の委託会社の変更について、見積書、契約書と合わせて報告された。
- ・委員会のロードマップについて、情報発信ツールとして Facebook を使用すること、2017 年度末よりの正式運用に向けて準備することが報告された。
- ・英文 HP の拡充について、HP の日本語コンテンツの内、英文化が望ましいものを抽出し、順次英文化する予定であることが報告された。
- ・2016 年 11 月のウェブアクセス状況が報告された（月総アクセス件数：7,119 件）。

7. 若手支援・男女共同参画委員会（YEPS）（資料-10）

- ・来年度の事業計画および予算について報告があった。（資料-10-1）
- ・2016 年度秋季講演会での「若手セミナー」の実施報告があった。（資料-10-2）
- ・来年度の若手地下水研究助成の募集会告が報告された。（資料-10-3）また、昨年度の経験を踏まえて、審査および審査会を午前中に実施すること、1 月に募集の詳細を公表する予定であることが報告された。また、審査時に発表項目・内容を統一できるよう事前に案内することとなった。

- ・2017年春季講演会では、前日の夕方に講演会場にて「若手の交流会」を実施する予定であることが報告された。実施にあたって、行事委員会との調整を行うこととなった。

8. 技術者教育委員会（資料-11）

- ・ジオスクーリングネット掲載行事の状況が報告された。
- ・ジオスクーリングネットへのCPD登録申請については、12/5のシンポジウム参加者2名から申請があったことが報告された。
- ・JABEE登録審査に前川前監事が参加したことが報告された。

9. 会計委員会（資料-12）

- ・2016年11月30日現在の会員数が報告された。
- ・2016年度の予算消化状況について、ほぼ例年通りであることが報告された。

10. 総務委員会（資料-14）

- ・理事総数、理事候補者の案について報告されたが、今後の水循環基本計画や自治体対応、若手支援などを考慮すると、理事の定数を減らすことは適切ではないとの意見が出た。よって、次期の理事候補については再度検討することとなった。
- ・代議員の候補者について、理事会当日の段階では立候補者がいないことが報告された。代議員候補に関しては、理事との兼任のないようにする方針であり、理事候補者を選任後、合わせて候補者を選定することとなった。なお、現状の代議員に対しても、継続の意向を確認する必要があるため、早急に確認することとなった。
- ・謝金の支払いが年間5万円を超える場合に「謝金の支払調書」を税務署に届ける必要があるため、対象者にマイナンバー情報を提供してもらうための依頼状を作成し、事務局にて対応中であることが報告された。
- ・代議員選挙のための選挙管理委員会メンバーに対して、委嘱状の発送を行ったことが報告された。
- ・委員会規程、事務局規程等について検討を継続することが報告された。
- ・特別会員特典の整理と拡大について、地方自治体を対象とすることを含め、検討中であることが報告された。
- ・総務委員会としてのロードマップ作成にあたり、渉外委員会での担当分を踏まえて検討中であることが報告された。
- ・次回理事会での審議事項として、「役員の選出」、「代議員の選出」であることが報告された。

以上をもって本日の議事が終了したので、議長は17時50分閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し代表理事及び監事が次に記名押印する。

2017年2月18日

公益社団法人日本地下水学会 理事会

代表理事：谷口 真人



監 事：平山 光信



監 事：村田 正敏

